

第1回 西日本こども虐待医療セミナー

2014年7月に大阪で開催された第6回日本子ども虐待医学研究会を契機に、西日本の医療関係者を中心とした児童虐待のセミナーを開催することとなりました。皆さま、ぜひご参加ください。

西日本こども虐待医療セミナー 事務局 毎原 敏郎（兵庫県立塚口病院）

日時 2014年 **12**月 **20**日（土） 13:00～17:00

場所 兵庫県民会館 10階 福の間

神戸市中央区下山手通 4-16-3 Tel: 078-321-2131

（JR神戸線・阪神「元町駅」から徒歩7分、地下鉄山手線「県庁前駅」すぐ）

参加費 1,000円

プログラム

BEAMS Stage2

座長： 安 炳文（京都府立医科大学）

講師 溝口 史剛 先生（群馬県済生会前橋病院）

BEAMS とは医療機関向けの虐待対応プログラムで、Stage1～3 で構成されています。Stage2 は児童虐待対応チーム(CPT)メンバー・小児科医を対象とするものですが、虐待についてより深く学びたいその他の職員も受講できます。受講した方が被虐待児の安全を担保して地域に繋げ、医学診断をネットワークに的確に提供できるようになることが目標です。今回が日本で開催される Stage2 の第1回目となります。

パネルディスカッション

座長： 毎原 敏郎（兵庫県立塚口病院）
池宮 美佐子（大阪市保健所）

「児相のホンネ、医療のホンネ」

パネリスト	児童相談所	木下 浩昭	（兵庫県西宮こども家庭センター所長）
		市村 好弘	（大阪市こども相談センター副所長）
		藤田 庄	（京都市第二児童相談所所長）
医療機関		溝口 史剛	（群馬県済生会前橋病院）
		松岡 太郎	（豊中市保健所）
		御牧 信義	（倉敷成人病センター）

本セミナーは医療関係者（医師、歯科医師、看護師、助産師、MSW、臨床心理士など）が対象ですが、今回は児童相談所の関係者の方にもご案内しています。参加ご希望の方は、氏名・所属・職種を明記の上で、兵庫県立塚口病院こども家族支援室（cfaso@hp.pref.hyogo.jp）まで、タイトルを「第1回セミナー参加希望」としてご連絡ください。なお会場の定員が90名となっておりますので、お申し込みが多数の場合には先着順とさせていただきます。予めご了承ください。